



2026 Japan Science & Engineering Challenge

第24回 高校生・高専生科学技術チャレンジ

supported by **kao**



研究で、頂点へ
CHANGE THE FUTURE!

応募要項

- 科学技術や数学を研究する高校生・高等専門学校生のみなさんへ 1・2
- 開催概要、応募資格、募集研究内容、カテゴリー、応募方法、エントリー情報記入事項 3
- 審査、賞、提出書類 4
- 内容構成、研究の倫理・安全性、ISEFへの出場 5
- 知的財産権・個人情報取り扱い等について 6

応募
期間

8/25 TUE ▶ 9/23 WED

最終審査会

12/12 SAT・13 SUN

東京大学・伊藤国際学術研究センター(東京・文京区)

主催

朝日新聞

株式会社朝日新聞社



株式会社テレビ朝日

特別協賛

kao

花王株式会社

協賛



JFE

JFEスチール株式会社

KURITA

栗田工業株式会社

NGK

NGK株式会社

SONY

ソニー株式会社

Denka

デンカ株式会社



株式会社荏原製作所

SEKISUI

積水化学工業株式会社

協力

TAKENAKA

株式会社竹中工務店

PILOT

株式会社パイロットコーポレーション

住友ベークライト

住友ベークライト株式会社

EXEO

エクシオグループ株式会社

朝日学生新聞社

株式会社朝日学生新聞社

JSEC公式ホームページ

<https://manabu.asahi.com/jsec/>



後援 文部科学省 環境省 農林水産省 特許庁 科学技術振興機構 国立科学博物館 全国高等専門学校連合会

科学への夢と情熱、 チャレンジが未来を創る



花王は「豊かな共生世界の実現」をパーパスとして、科学への夢と情熱で未来を切り開く若きサイエンティストを応援しています。皆さんのチャレンジが、夢の実現への第一歩となり、よりよい未来に貢献する科学技術の進歩につながることを期待しています。共に、新しい未来を創造していきましょう。



花王株式会社

代表取締役 社長執行役員
長谷部 佳宏



JFEスチールは、「ねがう未来に、鉄で応える。」をパーパスとし、未来が切望する世界の実現に向けた鉄づくりのために技術革新に挑んでいます。世界の未来を切り拓く、あなたの果敢な挑戦と情熱を応援します。



JFEスチール株式会社

代表取締役社長
広瀬 政之



栗田工業は企業ビジョン「持続可能な社会の実現に貢献する『水の新たな価値』の開拓者」を掲げています。問いに向き合い続け、試行錯誤を重ねながら研究に邁進してください。私たちも皆さんとともに歩み続けていきます。



栗田工業株式会社

代表執行役社長
江尻 裕彦



NGKはセラミックスの可能性を追求し、カーボンニュートラルとデジタルの分野で世界にイノベーションをもたらす技術に挑んでいます。新しい価値を創造する科学の可能性に満ちた、あなたの挑戦を応援します。



NGK株式会社

代表取締役社長
小林 茂



ソニーは、テクノロジーの力で未来のエンタテインメントをクリエイターと共創し、世界中の人に感動を提供し続けることを目指しています。未来を創る皆さんの科学技術へのチャレンジを応援します。



ソニー株式会社

代表取締役社長 CEO
田中 健二

JSEC(高校生・高専生科学技術チャレンジ)は、全国の高校生、高等専門学校生(1~3年生)、中等教育学校生(4~6年生)を対象にした科学技術と数学の自由研究コンテストです。理数教育の増進に資することで、社会が抱える様々な課題や地球規模での問題の解決・改善に向け、科学技術の力で挑む次世代人材の育成を目指しています。

Denka

デンカは「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる」というパーパスのもと、世界に誇れる化学で、人々の暮らしと社会に貢献することを目指しています。皆さんの未来をつくる挑戦を応援します。



デンカ株式会社

代表取締役社長
石田 郁雄



荏原製作所は創業から100年以上、流れを操る技術で社会課題の解決に貢献してきました。その歩みは、水、空気、廃棄物処理をはじめ半導体やエネルギーの未来へ繋がっています。皆さんの輝かしい挑戦を応援します。



株式会社荏原製作所

取締役 代表執行役社長
CEO 兼 COO
細田 修吾

SEKISUI

積水化学グループは、磨き上げてきた際立つ技術と品質をもとにイノベーションを創出し、くらしの根幹にある社会課題の解決に挑戦し続けています。皆さん一人ひとりの探求心と挑戦を、心から応援しています。



積水化学工業株式会社

代表取締役社長
清水 郁輔


新たな未来を切り拓く
皆さんの可能性に満ちた挑戦を応援します。

 **TAKENAKA** 株式会社竹中工務店
取締役社長 丁野 成人

日本から世界へ。
未来の科学者たちの挑戦を心より応援します。

 **PILOT** 株式会社パイロットコーポレーション
代表取締役社長 藤崎 文男

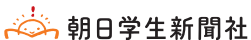
挑戦こそ未来を変える力です。
皆さんの挑戦を心から応援します。

 **住友ベークライト** 住友ベークライト株式会社
代表取締役社長 鍛冶屋 伸一

未来の“あたりまえ”を創り出す、
皆さんの挑戦を応援します。

 **EXEO** エクシオグループ株式会社
代表取締役社長 梶村 啓吾

自ら学ぶ力、課題を解決する力、
表現する力をつけましょう。

 **朝日学生新聞社** 株式会社朝日学生新聞社
代表取締役社長 安田 雅信



開催概要

- 主催／株式会社朝日新聞社、株式会社テレビ朝日
- 特別協賛／花王株式会社
- 協賛／JFEスチール株式会社、栗田工業株式会社、NGK株式会社、ソニー株式会社、デンカ株式会社、株式会社荏原製作所、積水化学工業株式会社
- 協力／株式会社竹中工務店、株式会社パイロットコーポレーション、住友ベークライト株式会社、エクシオグループ株式会社、株式会社朝日学生新聞社
- 後援／文部科学省、環境省、農林水産省、特許庁、科学技術振興機構、国立科学博物館、全国高等専門学校連合会

応募資格

- ①日本国内の高校生・高等専門学校生(1～3年生)・中等教育学校生(4～6年生)
 - ②以下の2つの部門で応募を受け付けます。
 - 少人数部門／1～3人による研究
 - 団体部門／同一校の4～20人による研究。但し、学校のクラスでの研究は応募可能です。
- ※応募者は、研究者および研究レポート作成者と、人数を含めすべて同一である必要があります。
- ※団体部門では同一校の生徒・学生に限定していますが、少人数部門では別々の学校の生徒・学生が2名または3名のチームで応募することもできます。
- ※少人数部門や団体部門にかかわらず、同じ生徒・学生が複数の研究に応募することはできません。複数の研究をしている場合は、必ず1つを選んで応募ください。
- ※最終審査会に進出した場合には、代表研究者、チームの場合は共同研究者1、共同研究者2として、応募フォームに記入された生徒・学生が出場者となります。メンバーの変更はできません。
- ※応募時には、代表研究者が通う学校の教諭1名を責任者としてご登録いただきます。応募後の連絡は、その教諭を窓口とさせていただきます。
- ※ISEF(国際学生科学技術フェア)に出場するためには、同大会のガイドライン(年齢が2027年5月1日時点で20歳未満、研究方法に関するルールなど)を守る必要があります。高校3年生は卒業後に大学1年生などの立場で、高専3年生は4年生でISEFに出場できます。
- ※ISEF出場の対象は少人数部門(個人～3名)の研究のみです。4名以上となる団体部門の研究はISEF出場の対象外です。

募集研究内容

幅広いカテゴリーから募集します。学術的な研究のみならず、独創的な視点によるフィールド調査や実験レポート、実験装置の試作、製品開発など、意欲的な研究作品を歓迎します。

カテゴリー

動物科学、植物科学、化学、生化学、細胞・分子生物学、微生物学、行動・社会科学、物理学・天文学、地球・環境科学、計算生物学・バイオインフォマティクス、組み込みシステム、システムソフトウェア、ロボット工学・知能機械、機械工学、材料科学、エネルギー：持続可能な材料、設計、環境工学、生物医学・健康科学、生体医工学、トランスレーショナル医科学、数学

応募方法

応募受付期間(2026年8月25日～9月23日)に、JSECの公式ウェブサイトに応募フォームページへのリンク先を掲載します。

- ①エントリー情報を応募フォームに入力してください。
- ②アブストラクト(研究の要約)のPDFファイルと、研究レポートのPDFファイルをアップロードします。
- ③知的財産権、個人情報取り扱い等(最終ページ参照)について、承諾をいただきます。

■受付確認

応募を受け付けると、フォームにご記入いただいたご担当教諭へ電子メールで自動的に受領送信メールが送られます。

※受領メールが届かない場合は、JSEC事務局までメールでご連絡ください。

■応募上の注意

- 2026年1月以降に行われた研究を審査します。前年までの研究をもとにした継続研究の場合は、前年までの研究部分と2026年1月以降の研究部分を明確にわけてご記入ください。また、同一研究の複数回エントリーはしないようご注意ください。
- 「日本学生科学賞」はJSECとともにISEFと提携しているため、同じ研究作品を両コンテストに重複して応募することはできません。また、同じ学校から異なる作品をJSECと日本学生科学賞に応募した場合、同じ生徒・学生が含まれている場合は、二重応募とみなします。団体部門の研究でも同様です。両コンテストは二重応募の確認のために必要な情報を共有します。
- 「日本学生科学賞」以外のコンテストに応募した研究作品を、JSECにも応募することは可能です。ただし、各コンテストのルールには十分ご注意ください。
- 参考文献がある場合には必ず明記してください。
- 応募前に、5ページに記載の「研究の倫理・安全性」を確認してください。
- ISEFに出場する場合、ISEFの主催者であるSociety for Scienceに対して、生徒や学生の氏名・学校名・メールアドレスなどを通知します。用途は、国際大会の情報や科学ニュースの配信などです。
- 6ページの「知的財産権・個人情報の取り扱いについて」を確認し、同意の上、ご応募ください。

エントリー情報記入事項

■研究のタイトル

■学校名

■学校情報

■研究者情報

- 生徒・学生の名前と読み方、性別、生年月日、学年をご入力ください。
 - 少人数部門で、研究者が2人か3人の場合は代表者を決めてください。
 - 団体部門の場合も、代表者1人と共同研究者2人を決めてください。
- 最終審査会にはその3人までが出場できます。4人目の研究者からは別の枠にご入力いただきます。また、団体部門の場合、学校名が入った学校公認の団体名の入力も必要です。

■ご担当教諭

- 応募する代表研究者が在籍する学校の教諭をご入力ください。
- お名前、読み方、メールアドレス、緊急連絡先、生徒・学生とのご関係(担任、部活動顧問等)をご入力ください。
- 応募受け付け後の事務局からの連絡はご担当教諭宛に差し上げます。
- メールアドレスは添付ファイルを確認できるアドレスをご入力ください。

審査

◆予備審査: 10月上旬～中旬

アブストラクト・研究レポートをもとに、1研究作品に複数の審査委員が採点。100以上の研究作品を選出。

◆一次審査会: 10月下旬～11月上旬

予備審査を通過した研究作品について、審査委員が専門分野を中心に検討会議で協議し、最終審査会に進む35以上の研究作品を選出。

◆最終審査会: 12月12日(土)・13日(日)

各生徒・学生によるプレゼンテーションを行い、審査委員と企業審査員による総合審査で各賞を決定。

◆表彰式: 12月13日(日) 最終審査会終了後に開催

賞(予定)

【グランドアワード】

[少人数部門]

最優秀賞 <賞状、盾、研究奨励金50万円>

文部科学大臣賞 <賞状、盾、研究奨励金30万円>

環境大臣賞 <賞状、盾、研究奨励金30万円>

[団体部門]

団体最優秀賞 <賞状、盾、研究奨励金50万円>

【特別協賛社賞】

花王賞 <賞状、研究奨励金30万円、国内スタディツアー招待>

【協賛社賞】

JFEスチール賞 <賞状、研究奨励金20万円>

栗田工業賞 <賞状、研究奨励金20万円>

NGK賞 <賞状、研究奨励金20万円>

ソニー賞 <賞状、研究奨励金20万円>

デンカ賞 <賞状、研究奨励金20万円>

荏原製作所賞 <賞状、研究奨励金20万円>

積水化学工業賞 <賞状、研究奨励金20万円>

【主催者賞】

朝日新聞社賞 <賞状、研究奨励金20万円>

【特別協賛社奨励賞】

花王奨励賞 2研究作品

<賞状、研究奨励金10万円、国内スタディツアー招待>

【協力社賞】

竹中工務店賞 <賞状、研究奨励金10万円>

パイロットコーポレーション賞 <賞状、研究奨励金10万円>

住友ベークライト賞 <賞状、研究奨励金10万円>

エクシオグループ賞 <賞状、研究奨励金10万円>

朝日学生新聞社賞 <賞状、研究奨励金10万円>

【主催者奨励賞】

テレビ朝日奨励賞 <賞状、研究奨励金10万円>

【審査委員奨励賞】 <賞状、研究奨励金5万円>

【優秀賞】 最終審査進出作品に対して <賞状>

【敢闘賞】 一次審査会で、高く評価された作品に対して <賞状>

【入選】 原則として、予備審査通過作品に対して <賞状>

【佳作】 入選に次ぐ優れた研究と評価された作品に対して <賞状>

※グランドアワード以外の賞は、少人数部門、団体部門のどちらからでも選ばれる可能性があります。

提出書類

■アブストラクト

●600文字以内で研究内容を「1.動機や目的→2.研究方法→3.結果→4.結論→5.今後の展望」の順に記述してください。図表、グラフ等は使用できません。

※応募ページに記載しているアドレスから、アブストラクトのPDFフォームをダウンロードしてください。そのPDFフォームに必要事項を入力し、応募ページのフォームにアップロードしてください。異なるフォームではアップロードしないでください。

■研究情報

●研究カテゴリーを選んでください。詳しくは3ページを参照してください。

●応募フォームで、以下の確認をしますので、教えてください。

- 1 研究に人間、脊椎動物、微生物、組み換えDNA、細胞組織などを用いているかどうか。
- 2 自宅、在籍校以外に大学や研究機関などで実験を行ったり、装置を使ったりしたかどうか。
- 3 今年1月以降に始めた新規の研究か、昨年以前に始めた研究からの継続研究か。
- 4 生成AIを使用しているかどうか。使っている場合、その使用部分と使用方法について。

■研究レポート

研究レポートは、PDFファイルをアップロードいただく方式です。

●用紙はA4縦、記述は横書き。本文は1ページあたり40行程度を目安としてください。表紙1枚を必ずつけ、本文は5ページ以上10ページ以内(参考文献の記載含む)にまとめてください。

●継続研究の場合、今年の研究と以前の研究との区別を、表紙、および本文内で明確にしてください。

●表紙を除いたページに、必ずページ番号を記載してください。

●研究レポートは、必ず誤字・脱字等がないか確認し、ファイルのチェック機能をかけるなど校正済みの書類データを提出してください。

※アップロードする研究レポートのPDFのデータ容量は5MBまでを目安とし、データ圧縮機能などによりなるべく軽いデータにしてください。写真や図表は軽いデータにして掲載してください。

※研究レポート作成者と人数は、研究者や応募者と同一でなければなりません。

※予備審査と一次審査の対象となるのは、アブストラクトと研究レポートの内容のみです。その他の論文やデータ集などを参考資料として送っていただいても、審査の対象にはなりません。

内容構成

① 表紙

「研究レポート」と記した表紙を1枚目に付けてください。

表紙記載事項:

- ①研究タイトル ②学校名 ③研究者の生徒・学生全員の氏名(代表研究者、共同研究者1、共同研究者2の順)と学年、研究者の人数。団体部門(4人以上)の研究の場合、その他の共同研究者全員の氏名と学年。
- ④実験期間・データ収集期間(継続研究の場合は「継続研究」と表示し、前年までと今年それぞれの期間)

継続研究の表示について

昨年までの研究をもとにした継続研究の場合、以下の2点にご注意ください。

- ①表紙に「継続研究」と表示すること。
- ②記載項目内では、どこまでが前年までの研究であり、今年の新しい研究内容は何かを明確にしながらかき記述すること。

② 記載項目

A: 研究目的

研究をなぜ行うのか。動機や背景、疑問や課題をあげて、取り組む目的を明らかにします。どこまでが既知のことか明確にし、先行研究があれば関連性も示し、着眼点を明らかにしましょう。また、必要に応じて仮説を示し、目標や期待する結果を述べてください。

B: 研究方法

実験や調査に使用する器具・材料、方法について、詳しく示してください。研究の手順、データを取得するための実験計画、得られたデータや結果から仮説や課題に対する答えを見つけるための分析手法など記載してください。写真や図表を使った説明も効果的です。

実施時期について、それぞれの手順ごとに明示してください。

C: 得られた結果

本研究で得られたデータおよび分析結果を示してください。統計数字やグラフなども含みます。

D: 考察

得られた結果は理論値や予測した結果と比べてどうだったか、実験ごとのばらつきや想定されるエラー、予定外に結果に影響を与えたものなどの要素を含めて考察してください。今後の改善策やさらに行うべき実験などについても考えてみましょう。

E: 結論

研究の成果として分かったことを述べてください。具体的に、考察の結果を踏まえて記載してください。また、今後の展望として、実社会への応用でどう役に立つか、どのように学問に貢献できるかなどについても触れてください。今後の研究課題もあれば記載してください。

F: 謝辞

個人や企業あるいは教育機関や研究機関などの協力を得た場合は感謝とともに、どの部分にどう協力を受けたのかを明記してください。

G: 参考文献

書籍、雑誌、新聞、ウェブサイト、論文などの参考文献がある場合は、著者名、タイトル、媒体名、掲載日、掲載号、発行年、出版社名、掲載ページ等を明記してください。

研究の倫理・安全性

- (1)当コンテストは、倫理・安全性・環境配慮の国際ルールに則って研究作品を審査する委員会Scientific Review Committee(SRC)を設置します。SRCは、必要に応じて書類の提出を求め、倫理・安全性等の確認や審査を行います。
- (2)盗作や偽造、他者の研究作品を公表すること、データの捏造や改ざんなどの不正行為は禁止されています。不正な研究は失格となります。提出書類が本人以外によって作成されたと認められる場合も失格となる場合があります。
- (3)「人間を対象とした研究」「脊椎動物を題材とした研究」「潜在的危険性のある生物および生物由来の物質(微生物、組み換えDNA、細胞組織等)を取り扱う研究」に該当する場合は、研究開始前に所属校の担当教諭にご相談ください。
- (4)潜在的危険性の高い生物因子や麻薬などの規制物質を取り扱う研究には資格を持った科学者の監督・指導が必要です。人間を対象とした研究や脊椎動物を取り扱う場合にも有資格者の監督・指導が必要になることがあります。
- (5)アンケート調査等を含め、人間を対象とした研究の場合は被験者の同意書が必要です。(被験者が未成年者の場合は保護者の同意書も必要)

※JSEC最終審査会への出場が決定した研究のうち、一部の研究については、倫理・安全性等の確認や審査のため、SRCから書類の提出を求められることがあります。JSEC公式サイトの「よくあるご質問」には、SRCで提出を求める書類の参考フォームを載せています。必要に応じてダウンロードしてください。研究内容によっては、これらの参考フォームをあらかじめ確認し、研究開始前に所属校の担当教諭と相談しながら研究計画を立てることを推奨します。

※研究倫理については、応募前に一般財団法人公正研究推進協会(APRIN)が無料公開している中等教育向け教材をご一読いただき、理解を深めることをおすすめします。
(<https://www.aprin.or.jp/e-learning/rse>)



ISEFへの出場

JSEC2026の入賞研究のうちいくつかは、2027年に米国で開催されるISEF(国際学生科学技術フェア)に、日本代表として出場するチャンスが与えられます。代表選考は、JSECでの実績や評価、ISEFの国際ルール、研究カテゴリーのバランスなど、審査委員と事務局が総合的に判断して決定します。

ISEFに出場するためには、ISEFのルールを遵守する必要があります。詳細はISEFのホームページをご覧ください。

<https://www.societyforscience.org/isef/international-rules/>

※ISEF事務局による出場や審査に関する各種規定・判断等により、ISEF出場が認められない場合もあります。

知的財産権・個人情報取り扱い等について

■知的財産権

1. JSECに応募された研究作品に関するすべての著作物の知的財産権は、応募者に帰属します。第三者の権利を侵害する研究作品の応募は禁止します。
2. 応募者は、JSECに応募した時点で、研究作品が公開されることに同意したものとみなします。JSEC事務局は、一次審査を通過した研究作品を一般の方々に対して公開する場合があります。
3. 最終審査に進出した研究作品は、当コンテストの運営・PRを目的として、主催者やJSEC事務局が、自己または第三者の発行・運営する新聞、出版物、放送、ウェブサイト、SNSなど(総称して、以下「各種媒体」という)への掲載に、自由に使用できるものとします。また、協賛・協力社および後援団体にも使用を認める場合があります。
4. 応募された研究作品に関する特許の申請は、応募者にその権利があります。なお、JSEC事務局は特許申請に関するサポートは行いません。
3. 受賞者・入選者の氏名、学年および所属校名、ならびに本件映像につきましては、協賛・協力社および後援団体が当社またはJSEC事務局から取得し、各社・団体が運営するウェブサイト・SNS等の媒体において掲載・配信する場合があります。
4. 最終審査で入賞された方はISEF(国際学生科学技術フェア)に出場する可能性があります。この場合、改めて個人情報の提出をお願いします。ご提出いただいた個人情報は、当社およびJSEC事務局が、ISEFの出場関連の手続き、ISEF事前研修の実施、その他当社等媒体およびJSEC関連媒体等におけるISEFに関する報道・結果報告に利用します。

■個人情報

1. JSECに提出される応募者・受賞者の個人情報は、主催者の株式会社朝日新聞社(以下「当社」という)が取得し、当社やJSEC事務局で、JSECの受付・審査・運営、JSECに関連する連絡・分析・統計情報の作成等や、科学技術・数学・教育に関連する商品・サービス・催し物の案内(案内メールを当社またはJSEC事務局から送付することを含みます)に利用します。また、受賞者・入選者の個人情報および肖像については、以下各号の目的でも利用します。
 - (1)表彰式の実施、表彰式動画配信
 - (2)最終選考会出場の記念写真撮影、記念動画収録
 - (3)後援・協賛・協力の団体・企業への報告書
 - (4)当社または当社のグループ会社が発行・運営する媒体(以下「当社等媒体」という)における発表・報道・紹介(そのための媒体運営者への提供を含む)
 - (5)JSECに関連する媒体(JSEC通信、JSEC公式サイト、JSEC3D会場、SNS、JSEC関係者へのメール配信等)およびJSECの宣伝告知物(印刷物、ウェブサイト、SNS、メール配信等)における掲載・発表・紹介当社およびJSEC事務局は、応募者の個人情報を法令および当社の個人情報保護方針等に当たって安全かつ適切に取り扱います。個人情報に関する問い合わせ・請求方法等につきましては、「個人情報について」(<https://www.asahi.com/corporate/privacypolicy/>)をご覧ください。
2. 当社およびJSEC事務局は、最終審査会や国際大会(ISEF)で撮影された最終審査会の出場者およびその関係者の映像および写真など(以下「本件映像」という)を、JSECのPRを目的として各種媒体において自由に使用(当該媒体の運営者への本件映像の提供を含む)できるものとします。

JSEC公式
ホームページ



JSEC審査委員



大学入試での
評価について



JSEC 3D会場



JSEC事務局 jsec@asahi.com

朝日新聞

JSEC



<https://manabu.asahi.com/jsec/>